

第21回 全国ボランティア フェスティバルみえ



三重からみえる
未来の絆

開 催 の ご 案 内

9/29 土 13:00~ 2012 9/30 日 9:00~

●会場●津市 三重県総合文化センター

●会場●津市内および伊勢市内

主催：第21回全国ボランティアフェスティバルみえ推進委員会
三重県社会福祉協議会
「広がれボランティアの輪」連絡会議
全国社会福祉協議会



ごあいさつ

1992年に開催された第1回の兵庫県の大会から昨年の東京大会にいたる間に積み上げられた研鑽と実践を引き継ぎ、このたび、「第21回全国ボランティアフェスティバルみえ」を開催いたします。前回の東京大会は、第20回の節目の大会として、ボランティア活動や市民活動の原点をあらためて振り返ると共に、現代社会の課題に真正面から向き合い、解決に向けて取り組まれた素晴らしい大会でありました。今回の三重大会では、これまでの成果や課題を引き継ぎ、充実させて、これからの未来につなげていきたいと考えています。

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、甚大な被害をもたらし、各地に災害の深い爪痕と悲しみを残しました。一方で、家族や地域の方々が助け合って困難に立ち向かう姿から、近年、いささか力を失いつつある家庭、地域、社会の相互扶助の大切さを、私たちはあらためて感じました。また、日本各地、世界各国から多くの支援が被災地に寄せられ、人間と人間との「つながり」を強く感じる契機ともなりました。

ボランティア活動や市民活動に永年取り組まれてきた方々はもちろん、まったくボランティア活動の経験をもたない方も数多く被災地支援の活動に参加されました。活動内容は様々ですが、困っている方のために自ら何かをしたいという、ボランティア活動や市民活動の原点といえる共通した強い思いがそこにはありました。

三重県は、日本人のこころのふるさとともいえる伊勢神宮があります。江戸時代にはおかげ

参りが多く行なわれ、伊勢神宮には全国各地から人々が訪れました。訪れる方々が無事に参拝をすませることができるよう道中の人びとは進んで手助けをされたそうです。施行と呼ばれるこの行為は、その人に見返りを求めるのではなく、自ら徳を積むために行なわれていました。対価を求めるのではなく、自らのために主体的に行うというボランティア活動、市民活動の原点をそこに見出すことができるのではないのでしょうか。

また、おかげ参りによって伊勢の地で全国の人びとの出会いと交流が生まれ、流行の発信地ともなっていたようです。今回の三重大会でも、全国へその成果を発信していくことが出来れば幸いに思います。

三重大会では、過去からの成果や課題を「未来」へつなぐことが重要であると考え、「三重からみえる未来の絆」を創っていくことを目指します。三重大会へのみなさまのご参加を心からお待ちしております。



第21回全国ボランティアフェスティバルみえ
推進委員会 会長 森下 達也

第21回 全国ボランティアフェスティバル みえ

大会概要

大会テーマ	三重からみえる 未来の絆
開催期日	2012年9月29日(土)、30日(日) 受付開始時間 29日(1日目) 12:00～ 30日(2日目) 8:30～
会場	1日目 三重県総合文化センター 2日目 【津会場】三重県総合文化センター 他 【伊勢会場】皇學館大学
主催	第21回全国ボランティアフェスティバルみえ推進委員会 三重県社会福祉協議会 「広がれボランティアの輪」連絡会議 全国社会福祉協議会
後援	厚生労働省、文部科学省、三重県、三重県市長会、三重県町村会
参加登録料	3,000円(大学生以下無料) ※交流会費は別途(5,000円) ※フィールドワーク参加費は別途(1,000円)



未来を見つめる、微笑んでいる人の目で、三重を表現しました。
それぞれの色は、オレンジは人の絆、
グリーンは自然、
ブルーは海にたとえました。

1日目 【9月29日(土)】

開会式

・13:00～13:40 (三重県総合文化センター 大ホール)

主催者・来賓あいさつ、ボランティア功労者厚生労働大臣表彰など

※12:45からオープニングとして皇學館大学雅楽部による歌舞があります。

テーマトーク

・ 13:50～15:50 （三重県総合文化センター 大ホール）

テーマ

「三重からみえる 未来の絆」

私たちが暮らす地域社会には、さまざまな課題があります。そして東日本大震災により、その課題はより深刻さを増したとも言えます。

多様な課題を解決するためには、ボランティア活動・市民活動などのボランティアな力が不可欠です。一人ひとりが社会をつくる市民としての力を高め、未来へとつながる絆を創っていくことを目指し、ボランティアな活動の「これまで」と「これから」を考えます。

パネリスト



黒田 裕子 さん（NPO法人阪神高齢者・障害者支援ネットワーク 理事長）

阪神・淡路大震災を契機にボランティア活動に専心。東日本大震災では、宮城県気仙沼市にて避難所、仮設住宅での支援活動に取り組み、住民とともに歩み続けている。

また、活動を通して、人と人とのつながりの必要性を感じ、様々なネットワークづくりにも取り組んでいる。

「ボランティアとは自己成熟であり、相手から学ばせていただくものは大きい財産である」と考えている。



坂本 久海子 さん（NPO法人愛伝舎 理事長）

多様性が豊かさ、活力になることを願い、多様な人材が共につくる豊かな社会を目指して、外国人と日本人の出会いの場づくりに取り組んでいる。

現在は、三重県内の外国人の自立支援として、日本語教室や生活相談など幅広い活動を展開。

三重県人権施策審議会委員を兼任。



鈴木 英敬 さん（三重県知事）

東京大学経済学部を卒業後、通商産業省（現：経済産業省）を経て、平成23年4月から現職。

ボランティア・市民活動を支援し、誰もが安心して暮らせる地域づくりや、県民との協働により新しいものを創造していく「協創（きょうそう）」の取り組みを進め、「『幸福実感日本一』の三重」を目指している。

コーディネーター



石阪 督規 さん（東京未来大学 モチベーション行動科学部 准教授）

広島大学大学院社会科学科博士課程、三重大学人文学部准教授を経て現職。

大学では地域マネジメント論、ボランティア論などを担当。

みえ若者就労支援ネットワーク、津市げんき大学などで三重県内の若者支援やまちづくりにかかわる。

「官民学連携のコーディネート」が活動のモットー。

テーマアクト

・ 16:00～16:30 （三重県総合文化センター 大ホール）

人情集団 あん ぽん たん An-Pon-Tan 『夢のバリアフリーミュージカル(手話歌、ダンス等)』公演

一人ひとりの熱い思いを、みなさんにお届けします！

2000年の立ち上げ以来、年齢・性別・障がい・国籍等、一切関係なく「舞台に立ちたい！」という仲間が集まったバリアフリー・パフォーマンス集団です。

作品はオリジナルにこだわり、脚本・音楽・振付・舞台演出等全て自分たちの手づくりで創り上げてきました。

これまでのミュージカルで使った歌やダンスを中心に、メンバー全員で熱く挑みます。



ふれあい広場

・ 12:00～17:00 （三重県総合文化センター 屋内）

ボランティア・市民活動団体の活動紹介、授産製品の販売を中心としたブース出展を行います。

交流会

・ 17:00～18:30 （三重県総合文化センター ギャラリー）

三重県のB級グルメ等を味わっていただきながら、参加者同士の交流を深めます。

2日目【9月30日(日)】

分科会

- ・ 9:00～11:45 (津会場／三重県総合文化センター 他)
(伊勢会場／皇學館大学)

会場は複数の会場に分かれます。30の分科会に分かれ各テーマに基づいて、意見を交換し学びを深めます。

※詳細は、P7～P14を参照。

拡大分科会

- ・ 13:00～15:00
(三重県総合文化センター)

6分科会に分かれ、さらに学びを深めます。

※詳細は、P15～P16を参照。

フィールドワーク

- ・ 13:00～15:00
(伊勢市内)

お伊勢さん観光案内人と伊勢の歴史・文化を体感します。

※伊勢会場の分科会を選択された方のみ参加が可能です。

※詳細は、P16を参照。

引継式・閉会式

- ・ 15:15～15:50 (三重県総合文化センター 中ホール)

大会フラッグ等引き継ぎ、次期開催地(高知県)あいさつ、三重ジュニア管弦楽団の演奏、閉会

ふれあい広場

- ・ 8:30～16:30 (三重県総合文化センター 屋内)

ボランティア・市民活動団体の活動紹介、授産製品の販売を中心としたブース出展を1日目に引き続き行います。

※伊勢会場(皇學館大学)では、協賛イベントとして、地元ボランティア等によるご当地料理等のブース出展や伊勢の伝統芸能の披露を予定しています。

分科会・拡大分科会一覧

生き活きささえ愛

① 世代間交流 de 地域力UP！	7
② 地域包括ケアのまちづくり ～地域とボランティアが支え合い・助け合うまちの仕組みづくり～	7
③ 1人じゃないよ！ みんなで支え合う地域づくり	7
④ ボランティア発…ボランティアのつながり活動	7
⑤ 笑顔をつなぐおもちゃ図書館 ～おもちゃ図書館の“イクメン”（父親の気持ち）～	8
⑥ 平成24年度 ふれあい・いきいきサロン全国研究交流会 広げよう地域の絆・増やそう地域の笑顔 ～ふれあい・いきいきサロン～	8
⑦ 未来に向かってくるまでGO!! ～今後のコミュニティ交通の充実について考える～	8
⑧ 互いに認め合い、共に生きる地域づくり ～障がい者の地域支援を考える～	8
⑨ 市民後見 ～自分らしく生きるために～	9

まちづくり

⑩ 新しい時代の自治を探る ～若い世代と熟年世代の対話から～	9
⑪ コミュニティビジネスで地域の幸せをデザインする ～課題解決型ワークショップから学び・気づく3時間～	9
⑫ 遊び仕事人を増やし、豊かな自然環境の創造を!! ～里山・里海・里空・里川に集うボランティア集合!!!～	10
⑬ 「美し国おこし・三重」人と人の絆づくり	10
⑭ 今、問われる企業価値 ～地域で活きるCSR推進企業～	10
⑮ ボランティアたちによる実現可能なバリアフリーアクティビティ ～強い想いが「原動力」となり、人が集まり、人が動く～	11

災害

⑯ 防災啓発（防災教育）とボランティア	11
⑰ 災害ボランティアセンターの運営 ～振り返りと今後について～	11
⑱ 被災者の気持ちとボランティアの熱意とのすれ違いをなくすために	11
⑲ 大災害と惨事ストレス ～現場でのボランティア活動・被災者の体験談から心のケアを考える～	12
⑳ 東日本大震災広域避難者の支援を考える	12

文化・国際

㉑ 「い」から「いっしょ」に ～異文化共生が見えるきっかけ・ヒント作り～	12
㉒ 留学生とボランティア ～人と人とがつながるために～	12
㉓ 「日本人」と「寄付」のこころ ～寄付でつながる社会～	13
㉔ 今、ボランティアを問う ～変えていくべきこと、変えてはいけないこと～	13
㉕ NPOの基盤強化 ～助成団体とのネットワークをつくろう～	13
㉖ 「おかげさま」と「おもてなし」のこころ ～伊勢の文化とその根源にあるもの～	13

若者

㉗ 幸福（しあわせ）～あなたは、今、幸せですか？～	14
㉘ 大学生のホンネトーク ～学生が災害支援に参加しやすいシカケを考えよう～	14
㉙ 離島の子どもたちと中高生の聖歌隊から盗め！ ボランティア活動成功の秘訣	14
㉚ われら高校生ボランティアの応援団！	14

拡大分科会

① ボランティア憲章を検証する！ ～ボランティア憲章制定に向けてLast Run～	15
② 気づく、関わる、ささえあう。つながりを創るために。～誰もが包摂される社会を目指して～	15
③ 助成事業を通して、東日本大震災支援活動の今後を展望する	15
④ 東日本大震災から西日本大震災へ	15
⑤ 映画鑑賞会「僕たちは世界を変えることができない。」～ミニ講演会 原作者 葉田 中太さん～	16
⑥ 「美し国おこし・三重」で大ワールドカフェ ～つむぐ想い・つながる心～	16

生き活きささえ愛

分科会
1

世代間交流 de 地域力UP！

津会場

住んでいるまちをみんなで元気にする。だれでも地域では主役(ヒーロー)となる。
子どもから高齢者までさまざまな世代の強い絆が地域をより豊かに暮らしやすくしていきます。
そんなボランティア活動の実際の事例発表とみなさんの意見を融合して新しいボランティア活動を見つけてみませんか？
世代を超えたつながりが、未来の地球を作り出す！！

登壇者

- ◆講師・コーディネーター…… 中川 晴夫さん(日本福祉大学 非常勤講師)
◆パネリスト…………… 水谷 時子さん(社会福祉法人自立共生会グループホーム「デイサービスくわなの宿」 管理者)
小山 充さん(船越いきいき学級 発起人)
宮田 完時さん(津市分都町唐人踊保存会 副会長)

定員

100人

分科会
2地域包括ケアのまちづくり
～地域とボランティアが支え合い・助け合うまちの仕組みづくり～

津会場

皆さんの地域のボランティアは、まちづくりを支える原動力となっていますか？会員数や活動するためのお金に課題を抱えていませんか？
地域にどのような仕組みがあればそれが解決できるのか。また、ボランティアが互いに助け合い・支え合う仕組みが必要ではないのか。それ
はどうすればできるのか。今回、その必要性や仕組みを作り上げていくためのノウハウなどを皆さんと学びたいと思います。

登壇者

- ◆司会…………… 石見 彰教さん(NPO法人みどりの絆 理事長)
◆講師…………… 松下 典子さん(公益財団法人さわやか福祉財団 東海ブロック長)
◆発表者…………… 田畑 純也さん(名張地区まちづくり推進協議会 副会長)
ボランティア団体関係者(調整中)

定員

100人

分科会
3

1人じゃないよ！ みんなで支え合う地域づくり

津会場

「住みやすい町づくり」をみんなで一緒に考えませんか！
もしも自分たちでコミュニティカフェをつくるとしたら…??みなさんの案を大募集！
公的サービスだけでは支えきれない地域の課題。人と人とのつながりが希薄になっている昨今。高齢者も障がい者も大人も子どもも、自
分たちの住む地域で「生き活きささえ愛」が実現するよう、共に考え話し合い「生き活き」してみませんか？

登壇者

- ◆コーディネーター…………… 田中 尚輝さん(NPO法人市民福祉団体全国協議会 専務理事)
◆パネリスト…………… 楠 珠里さん(NPO法人eye² 理事)
沖中 武輝さん(NPO法人KODOMO 理事)
前東 ふみ子さん(NPO法人エフ・エー 理事)

定員

100人

分科会
4

ボランティア発…ボランティアのつながり活動

津会場

ボランティア活動はやればやるほど、さまざまな悩みや課題に突き当たってきます。だからこそボランティアが抱える悩みやつらさを互い
に語りあい、つながり合う場が必要となってきます。やがてはボランティア同士のつながりが地域を変え、その地域基盤がボランティアを育
ていてくでしょう。ボランティアとして共につながり、関わり合う道をどう探っていくのか、いくつかの事例をもとに意見交換しあい、考えてい
きます。

登壇者

- ◆コーディネーター…………… 横山 立夫さん(津市ボランティア協議会 副会長)
◆パネリスト…………… 横山 美香さん(三重県自閉症協会 事務局長)
萩野 茂樹さん(三重県ボランティア連絡協議会 副会長)

定員

80人

分科会
5笑顔をつなぐおもちゃ図書館
～おもちゃ図書館の“イクメン”（父親の気持ち）～

津会場

おもちゃ図書館のボランティアさんは、女性が多く、利用者も子どもと母親で参加、父親は側面でサポートという形が多いようです。しかし、おもちゃ図書館の運営に積極的に関わっているイクメン（父親）もたくさんいます。今回は、そのおもちゃ図書館のイクメンに集合いただき、どのような思いで、または、気持ちでおもちゃ図書館に関わっているのかをお聞きます。

<おもちゃの図書館全国連絡会主催>

登壇者

- ◆講師 …………… 渡辺 顕一郎さん（日本福祉大学 教授）
- ◆コーディネーター …………… 浅野 芳明さん（荒川おもちゃ図書館子育て交流サロン）
- ◆発表者 …………… 鈴木 清美さん（志津川町おもちゃ図書館いそひよ 代表）
- 近藤 恭弘さん（菰野おもちゃ図書館ハッピー 代表）
- 金子 直由さん（鳥羽おもちゃ図書館どんぐり 代表）

定員 100人

分科会
6平成24年度 ふれあい・いきいきサロン全国研究交流会
広げよう地域の絆・増やそう地域の笑顔 ～ふれあい・いきいきサロン～

津会場

超高齢化社会の到来、孤立死の増加、大規模災害の発生などにより、地域では多くの課題がとりあげられ、「地域の絆」の大切さが改めて見直されています。

このような中で、高齢者や障がい者、子育て中の親子だけでなく、だれもが楽しく気軽に参加できる「地域の居場所」としての、ふれあい・いきいきサロンは全国的な広がりを見せ、「地域の絆」の再構築に大きな役割を果たしています。

「サロンってなに?」「どうやって作るの?」「どんなサロンをしているの?」「もっと楽しいサロンにするためのヒントがほしい」など情報交換していきましょう!! ※この分科会の開催時間は9:00～15:00です。

<財団法人みずほ教育福祉財団助成>

<社会福祉法人津市社会福祉協議会主催>

登壇者

- ◆【第1部】講師・コーディネーター …… 市川 一宏さん（ルーテル学院大学 学長）
- ◆【第1部】シンポジスト …………… 調整中
- ◆【第2部】ファシリテーター …………… 松端 克文さん（桃山学院大学 教授）

定員 200人

分科会
7未来に向かってくるまでGO!!
～今後のコミュニティ交通の充実について考える～

伊勢会場

「気軽に且つ安全に移動をしたい」という想いは、老若男女共通だと思います。

そのような、コミュニティ交通を作りあげるために、地域全体の課題としてみんなで力をあわせて、取り組んでいけたら…と思います。

また、どのように取り組んでいけば、みんなが気軽に移動ができるかをみんなで考えていきます。

登壇者

- ◆コーディネーター …………… 間柄 和也さん（三重県健康福祉生活協同組合 専務理事）
- ◆講師・パネリスト …………… 山中 光茂さん（松阪市長）
- ◆パネリスト …………… 中根 裕さん（NPO法人全国移動ネット 理事長）
- 坂林 哲雄さん（NPO法人ワークーズコープ 副理事長）
- 更谷 令治さん（NPO法人思いやり支援センターくまの 理事長）

定員 150人

分科会
8互いに認め合い、共に生きる地域づくり
～障がい者の地域支援を考える～

伊勢会場

「住み馴れた地域の中で家族・仲間とともに幸せを共有し安心して暮らしたい」誰もの願いだと思います。そうした地域づくりを進めて行くためには、障がい者や高齢者などが抱える問題を当事者だけの問題ではなく、私たち・地域全体の問題としてみんなで関心・理解を深め力を合わせて改善・解決に向けて取り組んでいかなければと思います。この分科会では、障がい者自らの声に耳を傾け私たち一人ひとりが、地域の一員としてまたボランティアとして何ができるか、またどうすればともに喜び悩みを共有し歩んでいけるかについて考えます。

登壇者

- ◆コーディネーター …………… 柳 誠四郎さん（社会福祉法人おおすぎ 副理事長）
- ◆パネリスト …………… 松田 慎二さん（NPO法人ピアサポートみえ 代表）
- 佐々木 康弘さん（ボランティアサークル「ヒューマリズム」 代表）
- 中野 喜美さん（三重県自閉症協会 会長）
- ボランティア代表（調整中）

定員 100人

分科会
9

市民後見
～自分らしく生ききるために～

伊勢会場

自分に、そして家族に、いつ発生するか知れない判断能力の低下を、法的に支える制度を知ることによって、ご本人を保護するという制度の目的はもとより、家庭や地域で、すべての人が通常の生活をする事ができる社会を作るために、そして、この制度との出会いを次へのアクションにつないでいくために、一緒に学びませんか？

登壇者

- ◆コーディネーター…………… 東村 篤さん(四日市大学 教授)
- ◆パネリスト…………… 楠井 嘉行さん(楠井法律事務所 弁護士)
- 今井 友乃さん(NPO法人知多地域成年後見センター 事務局長)
- 田辺 寿さん(社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会 権利擁護課 課長)
- 橋本 洋吉さん(伊賀市 市民後見人)
- ◆寸劇…………… 四日市大学東村ゼミ生

定員 100人

まちづくり

分科会
10

新しい時代の自治を探る
～若い世代と熟年世代の対話から～

津会場

「新しい公共」を担う自治組織は高齢化が進み、後継者難を課題にあげる声は大きくなっています。一方、阪神・淡路大震災を契機に、若年者のボランティアへの意識は高まっていますが、地域では若い世代との世代間交流の場面はあまりみられていません。新しい時代を担う若者世代の自治への参加は、担い手の継承につながる重要な取組みとなっています。今回は、若者が地縁組織による住民自治活動にどのように関わっていくのか、その阻害要因と新しい時代の世代間交流の可能性を探ります。

登壇者

- ◆講師・コーディネーター…… 岩崎 恭典さん(四日市大学 教授)
- ◆発表者…………… 清水 光久さん(神戸市長田区 真野地区まちづくり推進会 事務局次長)
- 藤井 明和さん(伊賀市柘植地域まちづくり協議会 健康福祉部会 会長)
- 谷口 美千生さん(四日市市川島地区社会福祉協議会 会長)
- ◆コメンテーター…………… 近藤 隆洋さん(I love 地元)
- 伊藤 弘人さん 他(四日市大学 学生ボランティア「地パト」)

定員 100人

分科会
11

コミュニティビジネスで地域の幸せをデザインする
～課題解決型ワークショップから学び・気づく3時間～

津会場

あなたの住んでいる地域が今より豊かになり、そこに住んでいる人の心が今より温かくなる方法の1つが「コミュニティビジネス」です。コミュニティビジネスは、ビジネスの手法を使って地域の課題を継続的に解決していく手段です。

この分科会では、参加者同士がコミュニケーションをとりながら「課題を解決していく」ということを、ワークショップを通じて気づき・考えることができます。コミュニティビジネスで地域の幸せをデザインしてみませんか？

登壇者

- ◆コーディネーター…………… 池山 敦さん(NPO法人Mブリッジ)
- ◆ファシリテーター…………… 調整中

定員 50人

分科会
12遊び仕事人を増やし、豊かな自然環境の創造を!!
～里山・里海・里空・里川に集うボランティア集合!!!～

津会場

いつの時代からでしょうか。自然保護のために自然に手を加えるようになったのは。本来人間は、自然を上手に利用してその糧を得ていました。キノコにしても、山菜にしても、取り過ぎないで、次の年のことも考えて行動してきたということが言えます。そのことが、自然保護になっているのです。里山を歩くところから、里道の保全になっていきますし、山の中を歩き回るだけで自然を撹拌して適度な刺激を与えていることになります。

川の魚を取る方法等、各地域で見事な伝統漁法があり、今でもそれをまちづくりの中心にしようとしているところが、沢山あるのです。自然の恵みを上手にいただくことが、自然保護のボランティアになる、という発想が面白いと思った方は、ぜひお友達お誘いの上おいでください。お待ちしております。

登壇者

- ◆講師 …………… 鬼頭 秀一さん(東京大学 教授)
- ◆パネリスト …………… 伊井野 雄二さん(NPO法人赤目の里山を育てる会 理事長)
- 翼 幸則さん(宮川流域ルネサンス協議会 運営委員長)
- 浦中 秀人さん(志摩市農林水産部里海推進室 里海推進係長)
- 岡山県美星町観光協会(調整中)

定員

100人

分科会
13

「美し国おこし・三重」人と人の絆づくり

津会場



「美し国おこし・三重」マスコットキャラクター うまちゃん

平成21年から平成26年までの6年間にわたって、三重県内の地域づくり活動を応援する取り組みを進めている「美し国おこし・三重」実行委員会が提供する分科会です。「美し国おこし・三重」総合プロデューサーによる“つながりの仕組みづくり”の講演と、三重県内で「人と人の絆づくり」をテーマに、「知る」、「学ぶ」、「考える」、「楽しむ」の視点から地域づくりに取り組む複数のグループによる様々な活動紹介により、三重の元気印を知っていただき、参加者の皆さんの活力アップにつなげていきます。

登壇者

- ◆講師 …………… 宮本 倫明さん(「美し国おこし・三重」 総合プロデューサー)
- ◆発表者 …………… 山田 舞さん(三重マサロネーゼclub)
- 坂本 久海子さん(NPO法人愛伝舎 理事長)
- 永島 いづみさん(CORORO)
- 井谷 三枝子さん(手づくり工房・ワイワイ)

定員

50人

分科会
14今、問われる企業価値
～地域で生きるCSR推進企業～

津会場

企業活動のグローバル化が避けて通れない昨今、企業のステークホルダー(利害関係者)は質量ともに複雑さを増しています。企業活動を続けていく中で、その社会的責任をいかに果たしていくかが世界規模で問われる時代に入ったといえるでしょう。ステークホルダーの中でも身近な存在である地域社会への貢献が見えるようになると、そこで働く人々の士気の高揚や人間関係の改善、優秀な人材の確保に大きな効果が挙げられることでしょう。

そこで、本分科会ではそうしたCSR活動を推進する企業の立場の方と企業と共同する立場の方による対談のなかから、選ばれる企業をめざすために、CSRについての意識をもっていただけたらと思います。

登壇者

- ◆コーディネーター …………… 橋川 健祐さん(関西学院大学 実習助手)
- ◆発表者 …………… 松浦 信男さん(万協製薬株式会社 代表取締役)
- 大西 貞夫さん(株式会社ぎゅーとら CS推進課 課長)
- 桑田 一真さん(NPO法人Mブリッジ)

定員

50人

分科会
15①・②

ボランティアたちによる実現可能なバリアフリーアクティビティ
～強い想いが「原動力」となり、人が集まり、人が動く～

伊勢会場

障がい者や高齢者の「したい」ことを可能にする！バリアフリーアクティビティ。ボランティアたちにより可能となる伊勢神宮参拝、海遊び、マラソン大会など、今や伊勢志摩には「できる」ことがたくさんあります。「共通の想い」の同志となったとき、その想いが「原動力」となり、人（ボランティア）が集まり動く。そんな歯車ががっつきかみ合ったとき、実現可能なバリアフリーアクティビティがはじまります。

- 分科会15①…分科会+スタディツアー(13:00～15:00) 定員：障がい当事者10名 サポート40名 計50名
スタディツアーとは、伊勢神宮(内宮)へ車いすで参拝希望する方、及びその対象者のサポート体験を希望する方たちの無料ツアーです。
- 分科会15②…分科会のみ

登壇者

- ◆講師・コーディネーター…… 中村 元さん(NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター・NPO法人日本バリアフリー観光推進機構 専務)
- ◆パネリスト…………… 黒田 健さん(車いすde伊勢神宮参拝プロジェクト)
- 田中 希恵さん(海島遊民くらぶ)
- 上山 寛二さん(伊勢日の出旅館 支配人)
- セーラビリティ伊勢(調整中)

定員 50人

災害

※分科会16～20 災害についての分科会は、内閣府 防災ボランティア活動検討会の協力にて実施する予定です。

分科会
16

防災啓発(防災教育)とボランティア

津会場

これからの未来を担う子どもたちのために私たちは何ができるのでしょうか？
子どもたちを中心とした防災啓発活動に取り組んでいる団体が、誰でも今すぐ始められる防災啓発活動を紹介、体験教室を行います。
また平成23年の台風12号豪雨災害の際に、被災した高校を近隣の高校の生徒が支援し、さらに別の高校生へも広がっていきました。この実体験の発表紹介を基に、高校での防災啓発の取組みも考えます。

登壇者

- ◆講師・コーディネーター…… 内閣府 防災ボランティア活動検討会委員
- ◆体験教室講師…………… 山本 道子さん(子育て応援!! 0.1.2.3サークル 代表)
- ◆パネリスト…………… 中村 欣一郎さん(安楽島子ども会 顧問)
- 紀南高校JRC部
- 木本高校JRC部

定員 50人

分科会
17

災害ボランティアセンターの運営
～振り返りと今後について～

津会場

平成23年9月に紀伊半島を襲った台風12号は、三重県南部にも大きな傷跡を残し、災害支援には、地域社会とのつながりが重要であると私たちに改めて教えてくれました。
今回の災害ボランティアセンターの運営において、被災地には多種多様なニーズが発生し、一部のボランティアセンターだけでは補えないような支援もありました。
大規模な災害が予想される今、さまざまな支援団体と連携をとり、被災者に寄り添える災害ボランティアセンターの運営をみなさんで考えましょう。

登壇者

- ◆講師・コーディネーター…… 内閣府 防災ボランティア活動検討会委員
- ◆パネリスト…………… 社会福祉法人熊野市社会福祉協議会 職員
- 社会福祉法人紀宝町社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター
- 社会福祉法人新宮市社会福祉協議会 職員

定員 50人

分科会
18

被災者の気持ちとボランティアの熱意とのすれ違いをなくすために

津会場

災害時だからなんでもしてくれると考える一部の被災者に困惑し、熱意を下げられるボランティア。また、熱意のあまり被災者や地域に対して、ついつい独自のボランティア論、復興論で熱く活動してしまう熱血ボランティア。両者の思いはただひとつ、「一日でも早いまちの復興」。
当分科会ではその問題の原因とは何なのかを、「寸劇」というツールで客観的に観察し、災害復興に潜む立場の違う人間同士の間で起こる「すれ違い」を解決すべく、熱く語り合います。

登壇者

- ◆講師・コーディネーター…… 内閣府 防災ボランティア活動検討会委員
- ◆寸劇…………… 劇団危機(社会福祉法人熊野市社会福祉協議会 有志)

定員 50人

分科会
19

大災害と惨事ストレス

～現場でのボランティア活動・被災者の体験談から心のケアを考える～

津会場

災害は人々の生命や財産に多くの被害をもたらしますが、同時に心にも大きな傷を残します。大きな災害に遭い(被災者)、またはその場で活動すること(災害ボランティア)で、からだや気持ちに様々な変化(ストレス反応)が起こることがあります。これらの反応は、直接災害に関わったときだけでなく、被災された方から間接的にさまざまな災害体験を聞くことによっても生じることがあります。災害に対する備えが重要であるように、災害時の心の問題にも事前の備えが大切です。あらかじめ知っていることが心の問題を軽減するのに役立ちます。

登壇者

- ◆講師・コーディネーター…… 内閣府 防災ボランティア活動検討会委員
- ◆パネリスト…………… 東日本大震災 災害ボランティア経験者
災害ボランティアセンター ボランティアコーディネーター
平成23年台風12号豪雨災害 災害ボランティア経験者
平成23年台風12号豪雨災害 被災地住民

定員 50人

分科会
20

東日本大震災広域避難者の支援を考える

津会場

東日本大震災の被災者支援は現地に行くだけではありません。
津波により自宅や仕事を失い家族や親戚を頼って、また、福島第一原発の事故による放射能被害の不安から逃れるためなど、住み慣れた地元を離れて遠く全国各地で一時避難生活を送らざるを得ない被災者の方々にに対し支援する活動もまた、それぞれが地元でできる支援活動のひとつです。

全国で一時避難を余儀なくされている被災者の方々の現状や、その方々の自立を支えるための息の長い支援について、ボランティアにできる事を共に考えてみませんか？

登壇者

- ◆コーディネーター…………… 内閣府 防災ボランティア活動検討会委員
- ◆パネリスト…………… 福島県内で一時避難活動を支援している団体
三重県内で一時避難活動を支援している団体
三重県外で一時避難活動を支援している団体

定員 50人

文化・国際

分科会
21

「い」から「いっしょ」に

～異文化共生が見えるきっかけ・ヒント作り～

津会場

国境を超える人の移動は勢いを増し、日本にも多文化、多民族社会が到来しています。
普段の生活の中で日本人と外国籍住民がそれぞれに抱えているイメージは「異なる国の人」ではないでしょうか？ お互いに向き合うことにより今まで気づかなかった現代社会の矛盾や異なる文化の良さに気づく機会とします。

登壇者

- ◆講師・コーディネーター…… 吉富 志津代さん(NPO法人多言語センターFACIL 理事長)
- ◆発表者…………… 米川 アンジェリカ 綾さん(多文化共生の市民団体「鈴とも」・ブラジル国籍)
三瀬 正幸さん(社会福祉法人青山里会 本部人事室 室長)

定員 50人

分科会
22

留学生とボランティア

～人と人とがつながるために～

津会場

日本には、アジアを中心として世界各国から14万1,000人以上もの留学生が訪れ、日本文化はもちろん様々な分野で勉強に励んでいます。その中には、ボランティアやチャリティ活動に力を入れている方も多くみえます。

そんな留学生や彼らを支援している関係者の先駆的な取り組みを紹介します。

また、ゲームをしたり世界のお菓子を食べて交流するふれあいタイムや、グループディスカッションでの意見交換を通じて、多文化共生の実現に向けて一緒に考えてみませんか。Let's 国際交流！

登壇者

- ◆コーディネーター…………… 棧敷 まゆみさん(鈴鹿国際大学 講師)
- ◆発表者…………… 渡邊 優生さん(鈴鹿国際大学 国際交流クラブ WAI 指導員)
スズさん(鈴鹿国際大学 国際交流クラブ WAI 部長・ミャンマー人留学生)
瀬口 郁子さん(神戸大学 教授)
中嶋 直人さん(神戸大学 留学生支援・国際交流ボランティアサークルTruss)
パーティスイッティポーン ティップパーヤーラットさん
(神戸大学 留学生支援・国際交流ボランティアサークルTruss・タイ人留学生)

定員 50人

分科会
23「日本人」と「寄付」のころ
～寄付でつながる社会～

津会場

私たちには、遥か古の時代から「たすけあいの精神」や「思いやりの心」が宿っています。生まれ育った環境などによって、それを表現する方法は異なっていますが、お互いに支えあう精神は古くから脈々と受け継がれ現在に至っています。

この分科会では、一言で簡単に表しがちな「寄付」について、それを表現する数多くの言葉の存在の意味や、その使われ方などから、自らの意思で行う「寄付」への理解、イメージを創出したいと思っています。

登壇者

- ◆講師・パネリスト…………… 鶴尾 雅隆さん(NPO法人日本ファンドレイジング協会 常務理事)
- ◆コーディネーター…………… 阿部 陽一郎さん(社会福祉法人中央共同募金会 企画広報部 部長)
- ◆パネリスト…………… 佐藤 依美さん(マックスバリュ中部株式会社 総務部 環境社会貢献担当マネージャー)
- 高藤 英光さん(真宗高田派本山専修寺進納所 課長)
- 長井 一浩さん(社会福祉法人松阪市社会福祉協議会)
- (松阪市被災者支援ボランティア本部)

定員

50人

分科会
24今、ボランティアを問う
～変えていくべきこと、変えてはいけないこと～

津会場

阪神・淡路大震災以降、我が国においてボランティアの認知度が高まり、東日本大震災の被災地支援にも数多くのボランティアが参加しました。この間、わが国では少子高齢化の進展や地域の関係の希薄化、経済の停滞、貧困や格差の問題などが拡大する一方で、ボランティアのみならずNPO等の市民活動、企業の社会貢献活動、コミュニティビジネスなどが広がり、さまざまな社会的な問題の解決に貢献してきています。

このようななか、ボランティアの原則として掲げられていた、主体性、無償性、社会性(公共性)等について、その境界線上にある活動が広がってきており、「ボランティア」をどう捉えればよいのか、分かっていくくなっているのではないのでしょうか。こうした状況をふまえ、改めてボランティアとは何かを考え、「変えていくべきこと、変えてはいけないこと」について考えましょう。

<「広がれボランティアの輪」連絡会議主催>

登壇者

- ◆課題提起者…………… 原田 正樹さん(日本福祉大学 学長補佐・准教授)
- ◆コーディネーター…………… 上野谷 加代子さん(同志社大学 教授)
- ◆パネリスト…………… 長谷部 治さん(社会福祉法人神戸市社会福祉協議会)
- 村上 徹也さん(市民社会コンサルタント)
- 水谷 綾さん(社会福祉法人大阪ボランティア協会 事務局長)
- ◆指定発言者…………… 山崎 美貴子さん(神奈川県立保健福祉大学 名誉教授)
- 和久井 良一さん(公益財団法人さわやか福祉財団 理事)

定員

100人

分科会
25NPOの基盤強化
～助成団体とのネットワークをつくろう～

津会場

NPO(NPO法人やボランティア団体等)の活動基盤を強化する上で、助成団体や助成金を上手に活用してきたNPOの皆さまの事例報告及び質疑を通して、助成財団の考え方や具体的な申請について勉強しましょう。この分科会には複数の助成団体が一堂に会していますので、会場での交流を通して皆さまと助成財団とのネットワーク作りに活用ください。

<NPO支援財団研究会(事務局:公益財団法人助成財団センター) NPO法人みえNPOネットワークセンター 共催>

登壇者

- ◆講師…………… 山岡 義典さん(認定NPO法人日本NPOセンター 顧問)
- ◆参加助成団体…………… キリン福祉財団、笹川平和財団、損保ジャパン記念財団
- 損保ジャパン環境財団、トヨタ財団、日本財団、三菱財団
- 郵便事業株式会社、日本NPOセンター、助成財団センター

定員

80人

分科会
26「おかげさま」と「おもてなし」のころ
～伊勢の文化とその根源にあるもの～

伊勢会場

伊勢音頭に歌われているように、伊勢は庶民の憧れとなっていました。江戸時代には、「おかげ参り」と呼ばれる最大で数百万人規模の集団参詣が、60年ごとに3回もおこりました。

このような中で参拝者への奉仕である「施行(せぎょう)」が行われ、「お陰さま」の感謝のころ、来る人・迎える人が共に喜びのころが育まれてきました。

こうした伊勢の文化を知り、学ぶことで、支え合うことの醸成をしたいと思っています。

登壇者

- ◆司会…………… 高橋 徹さん(NPO法人河崎まちづくり衆 理事長)
- ◆講師…………… 岡田 芳幸さん(皇學館大学佐川記念神道博物館 教授)
- ◆発表者…………… 中村 賢一さん(有限会社伊勢文化舎 代表)
- 山中 一孝さん(有限会社豆腐庵山中 社長)

定員

50人

若者

分科会
27幸福(しあわせ)
～あなたは、今、幸せですか？～

津会場

幸福実感日本一を目指す三重県において、その指標の1つであるニート・ひきこもり数について三重県内で実態調査を行った東京未来大学石坂准教授とNPO法人育て上げネット工藤啓理事長に登壇いただき、幸福(しあわせ)をテーマに対談します。

後半では、三重県内にある4つの若者サポートステーションの代表が壇上に上がり、若者の声、保護者の声、支援者の声を映像にて紹介。今後の若者支援について討論します。

登壇者

- ◆対談・コーディネーター…… 石坂 督規さん(東京未来大学 准教授)
- ◆対談 …………… 工藤 啓さん(NPO法人育て上げネット 理事長)
- ◆発表者 …………… 田中 豊さん(北勢若者サポートステーション 総括)
- 中川 真理子さん(若者就業サポートステーションみえ 総括)
- 浦田 宗昭さん(いせ若者就業サポートステーション 総括)
- 一見 俊介さん(いが若者サポートステーション 総括)

定員 100人

分科会
28大学生のホンネトーク
～学生が災害支援に参加しやすいシカケを考えよう～

津会場

東日本、東紀州と続いた未曾有の大災害において、阪神と同様に多くの学生が支援に参加し、また期待もされました。しかしながら、彼らが支援に携わるうえで、その「思い」を支える、あるいは見守る環境は十分だったのでしょうか。分科会では、学生、大学、一般(NPO)のそれぞれの立場から振り返り、参加者全員との対話を意識したワークショップを通じて、課題を共有します。さらに平時における大学のボランティア環境と一緒にリ・デザインしあいましょう！

登壇者

- ◆ファシリテーター …………… 板井 正斉さん(皇學館大学 准教授)
- ◆話題提供者 …………… 石田 沙也佳さん(四日市東日本大震災支援の会 初代学生リーダー)
- 木村 彩香さん(東北学院大学 みまもり隊リーダー)
- 山口 洋典さん(立命館大学サービスマーケティングセンター 副センター長)
- 亀山 裕美子さん
(三重大学「美し国おこし・三重さきもり塾」産学連携コーディネーター)

定員 50人

分科会
29

離島の子もたちと中高生の聖歌隊から盗め！ ボランティア活動成功の秘訣

津会場

新聞記事になった神島・菅島の子もたちのボランティア活動はご存知ですか？

彼らは地域のニーズを拾い、生き生きと活動しています。彼らの活動が成功したポイントは何でしょうか。

この分科会では、神島の灯油配達ボランティアと菅島の観光案内ボランティア、そして得意技を活かしながらユニークな活動を続ける中高生の姿も紹介しながら、皆で彼らが成功した秘訣を発見したいと思います。

そして、皆さんに成功の秘訣を地域での活動に活用するお土産として持ち帰っていただきます。

登壇者

- ◆コーディネーター …………… 伊東 達哉さん(社会福祉法人川越町社会福祉協議会)
- 北村 利都子さん(社会福祉法人桑名市社会福祉協議会)
- ◆コメンテーター …………… 杉谷 哲也さん
(高田短期大学 講師・鈴鹿市白子公民館 館長・公益財団法人日本ユニセフ協会 広報普及委員)
- ◆発表者 …………… 鳥羽市立神島中学校 生徒会役員
- 鳥羽市立菅島小学校 菅島島っ子ガイド
- 神島地区民生委員児童委員
- 川邊 愛莉沙さん 澁谷 和奏さん 他30名(メリノール女学院聖歌隊)
- ◆協力者 …………… 高田短期大学ボランティア部 20名程

定員 80人

分科会
30

われら高校生ボランティアの応援団！

伊勢会場

高校生がボランティア活動が続けていくためには何が必要でしょうか？本人のやる気？努力？もちろん、それも大切ですが、本人の思いがカタチになるような仕組みづくりや仕掛け、そして見守って支えてくれる人が必要となります。現在高校生ボランティアの応援団員になっている人ばかりではなく、将来応援団員になりたい人にもぜひ参加してほしいと思います。

登壇者

- ◆コーディネーター …………… 名賀 亨さん(華頂短期大学 准教授)
- ◆発表者 …………… 山下 由布理さん(高校生ボランティアOG)
- 田邊 夏織さん(高校生ボランティアOG)
- 羽野 雅彦さん(三重県立四日市南高等学校 教員)
- 若林 冴子さん(NPO法人アドバイザーネットワーク神奈川)

定員 50人

拡大分科会

拡大分科会 1

ボランティア憲章を検証する！ ～ボランティア憲章制定に向けてLast Run～

ボランティア憲章の草案ができあがったことを受けて、制定発布に向けての最終的な検証の機会として、ボランティアフェスティバルに集まった全国のボランティア関係者から、草案に対する質問や意見を聞き、ボランティア憲章の周知を図ります。

登壇者

- ◆経緯説明 …………… 枝見 太朗さん
(財団法人富士福祉事業団 理事長・第20回全国ボランティアフェスティバルTOKYO 実行委員長)
- ◆コメンテーター …………… 調整中

定員

100人

拡大分科会 2

気づく、関わる、ささえあう。つながりを創るために。 ～誰もが包摂される社会を目指して～

貧困、孤立、格差といった課題の背景には、金銭、物質的なこととともに、人と人、人と社会の関係性の希薄化があると言われています。それがどのような状況・状態を指すのかを知り、そして誰もが役割をもち、居場所をもち、お互いの存在を認め合うことができる社会を目指して、今ここから私たちにできることを考えます。

登壇者

- ◆コーディネーター …………… 蒔田 勝義さん(鈴鹿医療科学大学 准教授)
- ◆パネリスト …………… 定森 光さん(笹島診療所)
- 高橋 尚子さん(京都自立就労サポートセンター チーフパーソナルサポーター)
- 南川 久美子さん(一般社団法人三重県社会福祉士会 会長・NPO法人三重ダルク 理事長)

定員

100人

拡大分科会 3

助成事業を通して、東日本大震災支援活動の今後を展望する

未曾有の大災害となった東日本大震災。復興への道のりはまだまだですが、その復興に向けて、発生当初から現在でも多くの支援活動が展開されています。この分科会では、そのような支援活動を後方支援してきた助成事業を通して、東日本大震災に関する支援活動のこれからのあり方について考えます。

登壇者

- ◆司会 …………… 調整中
- ◆パネリスト …………… 青柳 光昌さん(日本財団ROADプロジェクト東日本大震災復興支援チーム)
- 椎名 規之さん(ジャパンプラットフォーム 事務局長)
- 阿部 陽一郎さん(社会福祉法人中央共同募金会 企画広報部 部長)

定員

150人

拡大分科会 4

東日本大震災から西日本大震災へ

超広域災害であった東日本大震災では、ライフラインの断絶やガソリン不足などにより被災者にいち早く寄り添うべきボランティアが現地になかなか駆けつけることができませんでした。

また、復旧・復興への道が長期化する中で、被災者自身による自立のためにも、息長く寄り添うボランティア活動が求められています。これらの教訓を共有すると共に、超広域災害に備える上でボランティア・NPOに突きつけられた課題を洗い出します。

※この拡大分科会は、内閣府 防災ボランティア活動検討会の協力にて実施する予定です。

登壇者

- ◆発表者 …………… 内閣府 防災ボランティア活動検討会委員

定員

200人

拡大分科会
5

映画鑑賞会「僕たちは世界を変えることができない。」
～ミニ講演会 原作者 葉田 甲太さん～

今大人気の向井理主演の「僕たちは世界を変えることができない。」を鑑賞しながら、募金や国際的な視点からボランティア活動の意義を再確認しましょう。

(STORY)

主人公の田中甲太は医大生2年で、気楽なイベントサークルで日々過ごしていたが、ある時ボランティア募金のパンフレットを見て、150万円を集めることができればカンボジアに学校を建てられることを知る。甲太は仲間を募り、チャリティイベントに精を出す。普通の医大生たちがカンボジアに小学校を建てるまでの奮闘記である。



◆講師・コーディネーター…… 葉田 甲太さん(原作者)

(プロフィール)

1984年兵庫県生まれ。150万円でカンボジアに小学校が建つことを知り、仲間と共に実現。その記録を綴った『僕たちは世界を変えることができない。But, we wanna build a school in Cambodia.』(小学館)が映画化される。エイズのドキュメンタリー映画『それでも運命にイエスという。』の監督を務め、日本全国22カ所を回り上映会を行う。現在は都内の病院に医師として勤務。

登壇者

定員

200人

WARNER MYCAL CINEMAS
ワーナーマイカルシネマズズカ様協賛

拡大分科会
6

「美し国おこし・三重」で大ワールドカフェ
～つむぐ想い・つながる心～



「美し国おこし・三重」実行委員会が提供する2日目午後の拡大分科会です。参加者の皆さんをはじめ、「美し国おこし・三重」パートナーグループなど地域づくりに日々取り組まれている県内の皆さんに参加いただき、「美し国おこし・三重」で大ワールドカフェ～つむぐ想い・つながる心～を開催。三重県の茶菓子を楽しみながら、交流を深めてみましょう。

「美し国おこし・三重」マスコットキャラクター うめちゃん

定員

100人

フィールドワーク

フィールド
ワーク

お伊勢さんを見学しませんか？

古来伊勢の地は、多くの人々のあこがれの地でした。

瑞々しさを失うことのない常若(とこわか)のうまし国、伊勢。

古くから「お伊勢さん」、「日本人の心のふるさと」として親しまれてきた伊勢の本当の姿を伝えたい。そんな「お伊勢さん観光案内人」が、伊勢であなたを待っています。

Aコース…内宮・おかげ横丁を巡り、伊勢神宮の歴史・文化に触れていただきます。

Bコース…外宮・新しく開館したせんぐう館を巡り、伊勢神宮の歴史・式年遷宮について学んでいただきます。

※フィールドワークへの参加をご希望の方は、申込書に希望コースの記号をご記入ください。

なお、フィールドワークは、伊勢会場の分科会に参加された方が対象となります。

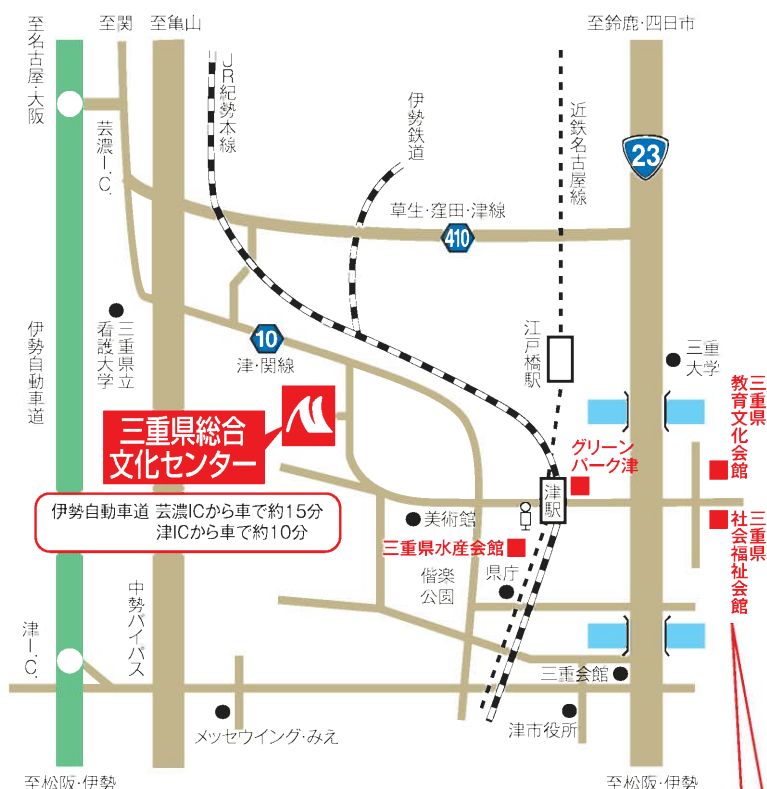
※別途参加費1,000円が必要です。

定員

200人

会場のご案内

●津 分科会会場・宿泊施設



●伊勢 分科会会場・宿泊施設



三重県総合文化センター …… JR・近鉄 津駅よりバスで約5分
 グリーンパーク津 …… JR・近鉄 津駅より徒歩約1分
 三重県教育文化会館 …… JR・近鉄 津駅より徒歩約6分
 三重県社会福祉会館 …… JR・近鉄 津駅より徒歩約6分
 三重県水産会館 …… JR・近鉄 津駅より徒歩約5分

- ・三重県総合文化センター
 三重県津市一身田上津部田1234 TEL.059-233-1111
- ・グリーンパーク津
 三重県津市羽所町700 TEL.059-213-2111
- ・三重県教育文化会館
 三重県津市桜橋2-142 TEL.059-228-1122
- ・三重県社会福祉会館
 三重県津市桜橋2-131 TEL.059-227-5691
- ・三重県水産会館
 三重県津市広明町323-1 TEL.059-227-3121
- ・皇學館大学
 三重県伊勢市神田久志本町1704 TEL.0596-22-0201

・JR・近鉄伊勢市駅または
 近鉄宇治山田駅よりバスで約10分
 ・伊勢自動車道伊勢ICより車で約7分

■宿泊設定日：2012年9月28日(金)《前泊》・29日(土)《当日》・30日(日)《後泊》

■宿泊料金は、1泊朝食付(サービス料込、消費税込)1名様分の料金となります。

■ツイン料金とはツインルームを2名様で利用される場合の1名様分の料金です。申込書に同室希望者をご記入ください。

■下表の宿泊料金・部屋タイプ申込記号を第2希望まで選択して、申込書に記入してください。

■お申込は先着順となります。なお、申込記号の記入が無い場合や希望されているホテル、部屋タイプが満室の場合等は調整させていただきます。(例/第1希望が満室の場合は第2希望へ、第2希望も満室の場合は他のホテルへ)

■バリアフリー対応に関しては、(株)日本旅行にお問い合わせください。

宿泊施設名	地図上の記号	宿泊料金・部屋タイプ				朝食付き	アクセス
		申込記号	シングル	申込記号	ツイン		
グリーンパーク津	1	1S	8,500	1T	8,500	あり	津駅から徒歩で1分 三重県総合文化センターから車で10分
エコノ津駅前	2	2S	6,500	2T	6,500	簡易朝食	津駅から徒歩で2分 三重県総合文化センターから車で10分
ドーマーイン津	3	3S	8,900	3T	8,900	あり	津駅から徒歩で2分 三重県総合文化センターから車で10分
サンルート津	4	4S	6,800	—	—	無し	津駅から徒歩で3分 三重県総合文化センターから車で10分
ルートイン津	5	5S	6,800	5T	6,800	あり	津駅から徒歩で7分 三重県総合文化センターから車で9分
グランコート津	6	6S	7,000	6T	7,000	あり	津駅から徒歩で5分 三重県総合文化センターから車で8分
津都ホテル	7	7S	8,500	7T	8,500	あり	津駅から車で7分 三重県総合文化センターから車で12分
フェニックスホテル	8	8S	7,300	—	—	あり	津駅から車で7分 三重県総合文化センターから車で12分
伊勢シティホテル	9	9S	7,700	9T	7,700	あり	宇治山田駅から徒歩で5分 皇學館大学から車で9分
伊勢パールピアホテル	10	10S	9,000	10T	9,000	あり	宇治山田駅から徒歩で6分 皇學館大学から車で10分
伊勢国際ホテル	11	11S	7,800	11T	7,800	あり	宇治山田駅から車で7分 皇學館大学から車で13分
キャッスルイン伊勢	12	12S	7,900	12T	7,900	あり	宇治山田駅から車で5分 皇學館大学から車で7分

【ご旅行代金】

- ・ご宿泊条件は1泊朝食付き、又は朝食なし(税・サービス料込)となっております。
- ※朝食はパンとコーヒー程度になる施設もございます。(簡易朝食方式)
- ・料金はお部屋タイプにかかわらず、お1名様料金です。
- ・お食事不要の場合でも、返金はございません。
- ・個人的に伴う費用につきましては、チェックアウト時にご精算ください。
- ・金額には旅行企画料を含んでおります。

【添乗員】

- ・同行いたしません。旅行サービスのご提供を受ける手続きはお客様ご自身でお願いをいたします。

【最小催行人員】

- ・お一人様からお申込をいただけますが、1部屋あたりのご利用人数は、各宿泊施設の定めた客室の定員利用とさせていただきます。

【お弁当取消料】

お取消日	取消料
9月18日(火) 15:00までの取消	無料
9月18日(火) 15:00以降の取消	100%

大会・交流会等の参加申込について

1. 参加申込(参加登録)について

- 大会及び交流会等への参加申込は、大会ホームページの申込フォームから、またはP22の「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、郵送かFAXでお申込みください。
- 参加登録料として3,000円が必要です。(大学生以下は参加費無料ですが、参加申込は必要です)
- 「参加申込書」は、「申込者」と「参加者名」の両方へご記入ください。グループでお申込の場合は、「申込者」の欄に代表者の名前、所属及び連絡先を、「参加者名」欄は代表者を筆頭に参加者一人ずつの参加状況をご記入ください。以降、参加券の送付、参加費用の請求を一括して行いますので、あらかじめご了承ください。

インターネットから参加申込を希望される方は、大会ホームページの
「参加申込」からお申込みください。
<http://www.miewel-1.com/vfmie/>

2. 参加申込書の記入について

上記ホームページもしくはP22の「参加申込書」の所定欄に必要事項をご記入のうえ、お申込みください。(必ず原本の控え<コピー>を保管ください)

■「所属等」欄

①学生②ボランティア・市民活動団体③社協・ボランティアセンター・推進団体等④学校・教育関係
⑤福祉施設・団体⑥行政関係⑦メディア・マスコミ⑧企業・労組・経済団体⑨保健医療施設・団体⑩その他
から選んで記入してください。

■「活動年数」・「活動分野」欄

分科会運営の参考にしますので、ボランティア活動・市民活動の活動年数をご記入ください。

活動分野については、①福祉(高齢者・障がい者)②子どもの健全育成③保健・医療④社会教育⑤まちづくり⑥地域安全活動⑦災害救援活動⑧環境保全⑨国際協力・交流⑩人権擁護・平和推進⑪学術・文化・芸術・スポーツ
⑫その他 から、最も近いものを1つ選んでご記入ください。活動されていない場合は、記入の必要ありません。

■「参加登録」欄

大会参加には、参加登録料3,000円が必要です。記入欄に○印をご記入ください。なお、1日目のみまたは2日目のみ参加の場合も参加登録料は3,000円です。

■「1日目(9/29)テームトーク」欄

記入欄の「参加」「不参加」を○でお選びください。

■「1日目(9/29)交流会」欄

交流会への参加は別途5,000円が必要です。記入欄の「参加」「不参加」を○でお選びください。ただし、会場定員数の関係でご参加いただくことができない場合もありますので、ご了承ください。

■「2日目(9/30)分科会」・「2日目(9/30)拡大分科会」欄

9月30日に開催する「分科会」・「拡大分科会」の中から、それぞれ希望する分科会番号を第2希望までご記入ください。(分科会番号はP7～16の分科会番号を参照。)なお、会場定員等の関係で第1希望にご参加いただくことができない場合もありますのでご了承ください。

※分科会15(P11)については、スタディツアーがありますので、スタディツアーに参加する場合は15①、参加しない場合は15②とご記入ください。

■「2日目(9/30)フィールドワーク」欄

9月30日に開催するフィールドワークへの参加を希望される場合は、希望する記号(AまたはB)をご記入ください。(フィールドワークの内容はP16を参照。)フィールドワークへの参加には別途1,000円が必要です。

なお、拡大分科会に参加される場合はフィールドワークには参加できません。

■「宿泊申込」欄

P17・18ページをご参照ください。

■「昼食」欄

9月30日の昼食弁当の予約を受け付けています。1食お茶付き800円です。記入欄の「必要」「不要」を○でお選びください。

※メイン会場となる三重県総合文化センターの周辺には飲食店が少ないので、お申込みをお勧めします。

■「国内旅行総合保険」欄

安心してご参加いただくために任意保険のご案内をしております。移動中の事故、窃盗など万一の被害の出費に備える保険です。記入欄の「必要」「不要」を○でお選びください。

■「介助・誘導等」欄

記入欄の「必要」「不要」を○でお選びください。介助・誘導等を希望される場合は、備考欄に希望することを具体的にご記入ください。なお、託児については2歳から就学前までのお子様に限らせていただきます。

3. 申込確認書・参加費用請求書の送付について

送付された「参加申込書」により、申込確認書と参加費用請求書などを8月下旬以降(予定)に郵送いたします。グループでのお申込の方に関しては、代表者に一括して送付します。

4. 参加費用について

【参加費用の振込】

参加費用請求書を送付いたしますので、金融機関備え付けの振込用紙により、記載の期日までにお支払いください。なお、振込手数料は申込者負担をお願いします。

【参加登録の「変更」・「追加」・「取り消し」方法について】

■参加登録の「変更」・「追加」・「取り消し」が生じた場合は、参加申込書に変更内容をご記入のうえ、お申し出ください。また、グループ・団体におかれましては、代表者(担当者)が一括してお申し出ください。

■費用の返金については、ご指定の口座に振込いたします。返金に伴う振込手数料については、変更をお申し出になった方のご負担とさせていただきます。

5. 申込締切日

2012 年 8 月 17 日(金)

6. 参加申込書の送付先・問い合わせ先

ホームページ、又は郵送、FAXで、株式会社日本旅行へお申込みください。なお、団体・グループ等で参加を取りまとめられる場合は一括してお申込みください。

株式会社 日本旅行 津支店

(担当:近藤・萩原)

〒514-0009 三重県津市羽所町375 百五明治安田ビル

TEL 059-226-5571 FAX 059-228-7731

■受注型企画旅行 旅行条件書（要約）

●受注型企画旅行契約

第 21 回全国ボランティアフェスティバルみえデスクを代表して、㈱日本旅行（以下「当社」といいます）が企画する旅行であり、この旅行に参加されるお客様には当社と受注型企画旅行契約を締結することになります。受注型企画旅行契約の内容・条件は、本パンフレット、別途お渡しする確定書面（最終旅行日程表）及び当社旅行業約款（受注型企画旅行の契約の部）によります。

●旅行のお申し込み

①別紙の申込書に必要事項をご記入のうえ、8月17日（金）までに、第21回全国ボランティアフェスティバルみえデスクにFAXまたは郵送にて、お申送ください。なお、先着順に受付いたしますので、満室、定員になり次第締め切らせていただきます。

②宿泊お申込の際には、第2希望・第3希望をご記入くださいますようお願い申し上げます。

●契約の成立、及び旅行代金のお支払

①別紙の申込書をいただいた後に、回答と確定書面（予約確認書など）・ご旅行取引条件説明書面・契約書面・請求書をお送りいたします。

②旅行契約は当社が契約の締結を承諾し、指定日までに旅行代金を納入していただいたときに成立します。

●取消料

お客様は、次表で定める取消料をお支払いいただくことにより、旅行契約を解除することができます。なお、取消料とは、お客様が当社の受付口、受付時間内に、解除する旨をお申し出いただいた口とします。

旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	宿泊を含む旅行の取消料 （おひとり）	宿泊のみお申込の際の取消料 （おひとり）
21日目にあたる日まで	無料	無料
20日目にあたる日以降、8日目にあたる日まで	旅行代金の20%	無料
7日目にあたる日以降、4日目にあたる日まで	旅行代金の30%	無料
3日目にあたる日以降、2日目にあたる日まで	旅行代金の30%	旅行代金の20%
旅行開始日の前日	旅行代金の40%	旅行代金の20%
旅行開始日の当日	旅行代金の50%	旅行代金の50%
旅行開始後または無連絡不参加の場合	旅行代金の全額	旅行代金の全額

●特別補償

お客様が走行中、生命、身体または手荷物に被られた一定の損害については、当社の故意、過失の有無にかかわらず、特別補償規定に定めるところにより、保証金及び見舞金をお支払いいたします。

●個人情報の取扱いについて

当社は、旅行申込の際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただく他、お客様がお申しいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及び、それらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

●旅行条件・旅行代金は2012年5月1日を基準としています。



旅行企画・実施 株式会社日本旅行津支店

〒514-0009 津市羽所町 375 番地 百五明治安田ビル

観光庁長官登録旅行業第2号 支店長：前田 隆広

（社）日本旅行業協会正会員 総合旅行業取扱管理者：大鹿 和彦

第21回全国ボランティアフェスティバルみえ 参加申込書 申込締切 2012年8月17日(金) 申込日 2012年 月 日

申込者(代表者名)	携帯電話		- -		会場までの主な交通手段に○をつけてください。	
〒	メールアドレス				・貸切バス・高速バス	
予約確認書・請求書 送付先住所 (代表者連絡先)	TEL () -		・船		・自家用車	
	FAX () -		・鉄道		・飛行機	

【申込書送付先・お問い合わせ先】

株式会社 日本旅行 津支店
〒514-0009 三重県津市羽所町375 百五明治安田ビル
Tel:059-226-5571
お申込FAX番号
担当:近藤・萩原 059-228-7731

フリガナ 参加者名	性別 年齢	所属等 P19に記載の番号で 記入ください	活動分野 活動年数 P19に記載の番号で 記入ください	参加登録 3,000円 ※大学生以下は無料	1日目(9/29)		2日目(9/30)			宿泊申込				昼食 (9/30) 800円	国内旅行 総合保険 1,000円	ツイン 同室 希望者名	介助・ 誘導等	合計金額 第1希望の 振込合計金額をご 記入ください。
					テーマ トーク	交流会 5,000円	ご希望	分科会 希望	拡大 分科会 希望	フーパド ワーク 1,000円 (伊勢会場)	ご希望	9/28 (金)	9/29 (土)					
例 ミエ ハナコ 三重 花子	女 50	②	10	②	参加 不参加	参加 不参加	第1希望 第2希望	1 18	3 6		第1希望 第2希望	1S 2S	1S 2S	5S 3S	必要 不要	必要 不要	必要 不要	33,600
1					参加 不参加	参加 不参加	第1希望 第2希望				第1希望 第2希望				必要 不要	必要 不要	必要 不要	
2					参加 不参加	参加 不参加	第1希望 第2希望				第1希望 第2希望				必要 不要	必要 不要	必要 不要	
3					参加 不参加	参加 不参加	第1希望 第2希望				第1希望 第2希望				必要 不要	必要 不要	必要 不要	
4					参加 不参加	参加 不参加	第1希望 第2希望				第1希望 第2希望				必要 不要	必要 不要	必要 不要	

◆ 希望の分科会が定員になった場合は、他の分科会をご案内させていただきます。
あらかじめご了承ください。

◆ 希望のホテル、部屋タイプが満室等でお取りできない場合は、別のホテル又は別のタイプで回答させていただきます。あらかじめご了承ください。

◆ 雄読のため、控え(コピー)をお手元にお持ちください。

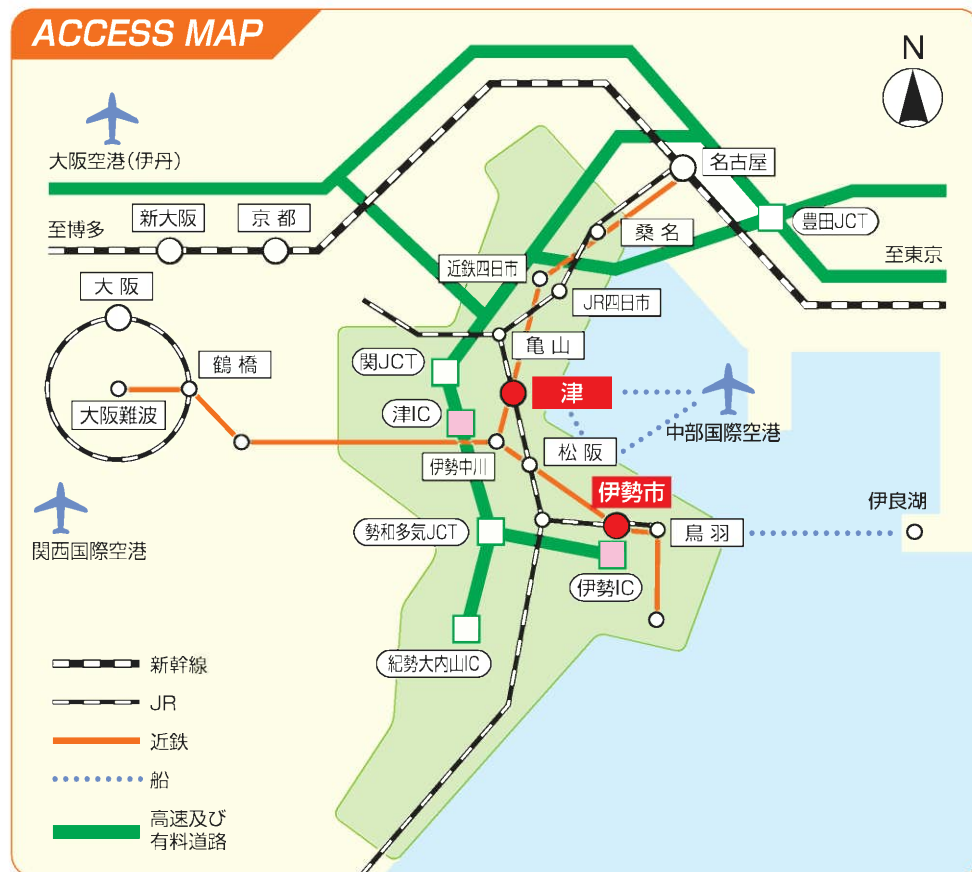
◆ このお申込書は大会ホームページからダウンロードできます。また、Web予約もっております。

【備考欄】
ご要望がございましたら、ご記入ください。
介助・誘導等については希望することを具体的に記入ください。

【ご返金の場合の口座】

銀行名:	銀行	支店
口座種別	口座番号	
普通・当座		
口座名義:		
NO.	受付日	入金日
日本旅行 使用欄		

第21回 全国ボランティアフェスティバル みえ



第21回全国ボランティアフェスティバルみえ事務局

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉協議会内

TEL 059-227-5145 FAX 059-227-6618

<http://www.miewel-1.com/vfmie/>

三重からみえる未来の絆

検索



●Twitterやってます!(<https://twitter.com/#!/zvfmie>) Twitter ID @zvfmie ぜひフォローを!!

●facebookページあります!(<http://www.facebook.com/zvfmie2012>)「全国ボランティアフェスティバルみえ」 ぜひ「いいね!」を!!

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業